

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド

商品データ連携

ユーザーズマニュアル

はじめに

本資料は導入済みの連携プラグイン for 蔵奉行クラウドのご利用にあたり、その操作/設定方法を説明するものです。

本製品は、kintone アプリに読み込むプラグインとなっております。
プラグインを kintone に読み込み、作成したアプリに追加して、ご利用ください。

プラグインのセットアップについては、kintone の以下のマニュアルをご確認の上、導入ください。

プラグインの追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/admin/add_plugin/plugin.html

セットアップ後、作成したアプリにプラグインを追加してご利用ください。

アプリにプラグインを追加

https://jp.cybozu.help/k/ja/user/app_settings/plugin.html

本製品では、プラグイン設定に奉行クラウドの接続情報を設定することで、奉行クラウドへデータの参照/登録が可能となります。

■ 目次

はじめに	ii
第 1 章 プラグイン(データ登録)	1
1.1 プラグインの設定	1
1.2 データの登録	5
第 2 章 プラグイン(データ参照)	8
2.1 プラグインの設定	8
2.2 データの参照	11
第 3 章 ご利用上の制限事項	12
3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限	12
3.2 蔵奉行クラウドの項目の登録・参照規則	13
第 4 章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認	14
4.1 tenantid (法人接続情報)の確認	14
4.2 API トークンの確認	15
第 5 章 利用期限の通知	17
5.1 利用期限 2 週間前	17
4.2 利用期限切れ	17
第 6 章 付録	18
6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合	18
6.2 参照したデータを再利用してデータ削除を行いたい場合	21
6.3 商品データの規則	22
6.4 商品データの規則(補足)	33

第1章 プラグイン(データ登録)

1.1 プラグインの設定

連携先の蔵奉行クラウドの tenantid（法人接続情報）と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。（設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。）

tenantid（法人接続情報）と API トークンの発行方法については、「第4章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリー：
プラグイン

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド(商品データ登録)



詳細

バージョン：1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

☐ 本番環境 ☒ 体験版環境

データ登録の設定

☒ 1件ずつ登録する ☐ 一括で登録する

項目のマッピング

データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
商品コード：	商品コード(商品コード)	
商品名：	商品名(商品名)	
種別：	種別(種別)	
処理区分：	処理区分(処理区分)	
インデックス：	インデックス(インデックス)	

○ データ登録の設定

kintone から蔵奉行クラウドへデータを登録する方式を設定します。

- 『1 件ずつ登録する』

kintone のレコードのデータを 1 件ずつ蔵奉行クラウドへ登録したい場合、『1 件ずつ登録する』を選択してください。レコード追加画面でレコードを保存した後に、そのレコードのデータを蔵奉行クラウドへ連携し登録します。

- 『一括で登録する』

kintone のレコードのデータを一括で蔵奉行クラウドへ登録したい場合、『一括で登録する』を選択してください。レコード一覧画面に、「一括で登録する」ボタンが表示され、ボタン押すと kintone の複数のレコードのデータを一括で蔵奉行クラウドへ登録できます。

『一括で登録する』を選択した場合は、連携対象となる kintone のレコード判定のために、以下を設定してください。

- ・ 『連携対象の kintone のフィールド名』

連携対象となるレコードを判定するための kintone のフィールド(「文字列 (1 行)」)を、このアプリの「フォーム」から追加し、「プラグインの設定」で指定してください。

- ・ 『連携対象となる値』

連携対象となるレコードを判定する値を設定してください。

例) 未連携

設定しない場合(空の場合)は、『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値が空のレコードが連携対象となります。

- ・ 『連携後の値』

蔵奉行クラウドへデータ登録に成功した後の値を設定してください。

例) 連携済

『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を、設定した値で更新します。

(登録したデータを二重に登録しないために設定すると便利です。)

データ登録の設定	
	☐ 1件ずつ登録する ☒ 一括で登録する
連携対象kintoneフィールド名	奉行登録フラグ(奉行登録フラグ) ▼
連携対象となる値	未登録
連携後の値	登録済

☰

🏠

🔔

★

「一括で登録する」ボタン

🔍

📄 サンプル

🔗

🔍

📊

☁️

+

⚙️

⋮

1 - 6 (6件中)

	レコード番号	奉行登録フラグ	商品コード	商品名	
📄	6	登録済	S-10072	杉	✎ ✕
📄	5	登録済	SET-S02	贈答ふりかけ3点セット	✎ ✕
📄	4	登録済	T-00002	観葉植物	✎ ✕
📄	3	未登録	U-10005	化粧箱(松)	✎ ✕
📄	2	未登録	U-10004	化粧箱(竹)	✎ ✕
📄	1	未登録	U-10003	化粧箱(梅)	✎ ✕

1 - 6 (6件中)

○ 項目のマッピング設定

連携先の蔵奉行クラウドの項目に対応する kintone のフィールドを選択してください。
連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1 行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」「日付」です。

規定値を入力したい場合は、ドロップダウンから『規定値を入力』を選択し、テキストボックスに規定値となる値を入力してください。

項目にデータを連携したくない場合は、ドロップダウンから『入力なし』を選択してください。

項目のマッピング		
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)	規定値入力
商品コード：	商品コード(商品コード) ▼	
商品名：	商品名(商品名) ▼	
種別：	種別(種別) ▼	

1.2 データの登録

- データ登録の設定で『1 件ずつ登録する』を設定した場合
データの登録は画面上部にある保存ボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、蔵奉行クラウドとの連携は完了です。

The screenshot shows a web application interface for data registration. At the top, there is a navigation bar with icons for menu, home, notifications, and favorites. A search bar is located on the right. Below the navigation bar, there is a confirmation dialog box with a dark background. The dialog contains the text: "devrtatgj.cybozu.com の内容" and "蔵奉行クラウドにデータを登録しました". There are three buttons: "キャンセル" (Cancel), "保存" (Save), and "OK". Below the dialog, there is a form with the following fields: "奉行登録フラグ" (Registration Flag) with a value of "未登録" (Not Registered), "商品コード" (Product Code) with a value of "U-10003", "商品名" (Product Name) with a value of "化粧箱(梅)" (Cosmetic Box (Plum)), "種別" (Type) with a value of "0", and "処理区分" (Processing Category) which is empty. A large circular loading spinner is visible in the center of the form area.

○ データ登録の設定で『一括で登録する』を設定した場合

データの登録はレコード一覧画面にある一括で登録するボタンから登録できます。
登録が終了すると以下の様なダイアログが表示されます。ダイアログに「登録しました。」のメッセージが表示されれば、蔵奉行クラウドとの連携は完了です。



ダイアログの OK ボタンを押すと連携したレコードの『連携対象の kintone のフィールド名』に設定したフィールドの値を『連携後の値』に設定した値で更新します。更新が完了すると以下のダイアログが表示され、OK ボタンを押すと表示中の画面を更新します。

第2章 プラグイン(データ参照)

2.1 プラグインの設定

連携先の蔵奉行クラウドの tenantid（法人接続情報）と API トークンを入力してください。接続先環境として、本番環境または体験版環境を指定できます。用途に応じて、選択ください。「保存」ボタンを押すと設定が保存されます。（設定はアプリの更新を行わないと適用されませんので、ご注意ください。）

tenantid（法人接続情報）と API トークンの発行方法については、「第3章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認」をご参照ください。

カテゴリー
プラグイン

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド(商品データ参照)



詳細

バージョン: 1

奉行の設定

tenantid (法人接続情報)

APIトークン

接続先環境

☐ 本番環境 ☒ 体験版環境

検索項目の設定

検索対象項目	表示名
☒ 商品コード	
☒ 商品名	
☒ 種別	
☒ インデックス	
☒ 商品名2	メーカー名
☒ 商品名3	
☒ 商品コード2	メーカー
☒ 商品コード3	
☐ 発行コード	
☐ 商品区分1コード	
☐ 商品区分2コード	
☐ 商品区分3コード	
☐ 商品区分4コード	
☐ 商品区分5コード	
☐ 主仕入先コード	
☐ 主倉庫コード	
☐ 登録日時	
☐ 修正日時	
☐ 最終更新日時	

項目のマッピング

データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)
商品コード:	商品コード(商品コード) ▼
商品名:	商品名(商品名) ▼
種別:	種別(種別) ▼

○ 検索項目の設定

連携先の蔵奉行クラウドからデータを参照するときに利用する検索項目を選択してください。検索項目として以下が設定でき、チェックボックスにチェックを入れることで利用することが可能です。

検索対象項目	表示名
☒ 商品コード	
☒ 商品名	
☒ 種別	
☒ インデックス	
☒ 商品名 2	メーカー名
☒ 商品名 3	
☒ 商品コード 2	メーカー
☒ 商品コード 3	
☐ 発行コード	
☐ 商品区分 1 コード	
☐ 商品区分 2 コード	
☐ 商品区分 3 コード	
☐ 商品区分 4 コード	
☐ 商品区分 5 コード	
☐ 主仕入先コード	
☐ 主倉庫コード	
☐ 登録日時	
☐ 修正日時	
☐ 最終更新日時	

チェックを入れた検索項目は、レコード一覧画面の検索枠に表示されます。

表示名を設定すると設定した名前で検索枠に表示することができます。

(範囲検索は、開始と終了の両方を入力して検索してください。片方のみで検索すると、その項目は無視して検索します。)

一覧1

+

⚙️

⋮

1 - 82 (82件中)

商品コード

商品名

種別

メーカー

商品名 3

メーカーコード

商品コード 3

データ取得

	レコード番号	商品コード	商品名	種別	
	655	V-00005	バナナパフェ	0	
	654	V-00002	ロースハム (お歳暮ギフト)	0	
	653	V-00001	洋菓子詰め合せ (お歳暮ギフト)	0	

○ 項目のマッピング設定

連携先の蔵奉行クラウドから参照したデータを入れる kintone のフィールドを選択してください。連携可能な kintone のフィールドの種類は、「文字列（1 行）」「数値」「ラジオボタン」「ドロップダウン」です。

「ラジオボタン」「ドロップダウン」を利用する場合は、予め取得できる値を設定してください。

参照しない項目には、『連携しない』を選択してください。

項目のマッピング	
データ項目名	kintoneフィールド名(フィールドコード)
商品コード：	商品コード(商品コード) 
商品名：	商品名(商品名) 
種別：	種別(種別) 

2.2 データの参照

データの参照は、レコード一覧画面で行います。

検索枠の項目に検索条件を入力し、データ取得ボタンを押すと連携先の蔵奉行クラウドから、データを参照することができます。(参照は、kintone アプリの参照時点の全てのレコードを削除し、奉行クラウドから取得したデータでレコードを登録し直す動作となります。)データの参照が完了すると以下の様なダイアログが表示されます。OK ボタンを押すとレコード一覧画面を更新して、参照したデータを表示できます。

devrtatgj.cybozu.com の内容
データを取得しました。
画面を更新します。
OK

アプリ内検索

1 - 91 (91件中)

商品コード
商品名
種別
インデックス
メーカー名
商品名 3
メーカー
商品コード 3

データ取得

	レコード番号	商品コード	商品名	
	179	Z-ZEI	消費税	
	178	Z-NEBIKI	値引き	
	177	Z-KONPO	梱包費	
	176	V-00002	ロースハム (お歳暮ギフト)	
	175	V-00001	洋菓子詰合せ (お歳暮ギフト)	

第3章 ご利用上の制限事項

3.1 kintone proxy のタイムアウトの制限

蔵奉行クラウドとのデータ連携では、kintone proxy を利用しています。

kintone proxy は、一定の時間レスポンスが無い場合、タイムアウトとなってしまう場合がございます。

マスター参照時に発生した場合、テキストボックスに入力する検索文字をさらに絞り込みが可能な文字に変更し、再度、検索をお試しください。

データ登録時に発生した場合、蔵奉行クラウドへログインし、該当するデータが登録されているか確認をお願いします。

The screenshot displays the Kintone proxy application interface. At the top, there is a navigation bar with a hamburger menu, a star icon, and a search icon. Below this, a header bar contains the text "devtalgcybozu.com @内容" and "kintone proxy へのAPIとの通信がタイムアウトしました。" (Communication with the Kintone proxy API has timed out). A "キャンセル" (Cancel) button and a "保存" (Save) button are visible. The main area is a form with several input fields and a search button. The fields include: "依頼区分" (Request Category) with a dropdown menu, "受付日時" (Reception Date/Time) with a date picker set to "2020-10-27", "得意先コード" (Customer Code) with the value "00000001", "消費税計算" (Consumption Tax Calculation) with a dropdown menu, "得意先名" (Customer Name) with the value "太平洋電気株式会社", "得意先事業所名" (Customer Branch Name) with the value "札幌支店", "得意先担当名" (Customer Representative Name) with the value "大木 誠", "部門コード" (Department Code) with the value "002", "部門名" (Department Name) with the value "第二営業部", "担当者コード" (Staff Code) with the value "0102", "担当者名" (Staff Name) with the value "佐藤 鉄夫", "プロジェクトコード" (Project Code), "プロジェクト名" (Project Name), "請求先コード" (Billing Party Code), and "請求先名" (Billing Party Name). A search button is located at the bottom right of the form. A loading spinner is visible in the center of the form area.

3.2 蔵奉行クラウドの項目の登録・参照規則

データ登録・参照時は、蔵奉行クラウドの項目毎のデータ規則に従い行ってください。各項目の詳細については「6.3 商品データの規則」をご参照ください。

第4章 蔵奉行クラウド API 利用情報の確認

4.1 tenantid (法人接続情報)の確認

蔵奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある運用環境情報の法人管理を選択してください。法人情報にある法人接続情報をご利用ください。

- ① 蔵奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「運用環境情報」を選択、「法人管理」を選択し、法人情報画面で法人接続情報を確認できます。



4.2 API トークンの確認

蔵奉行クラウドにログインし、右上メニューにあるセキュリティの管理ポータルを選択してください。管理ポータルの画面が表示されますので、左メニューにある外部サービス連携の連携アプリケーションを選択してください。連携アプリケーション一覧の画面からアクセストークンを発行してご利用ください。

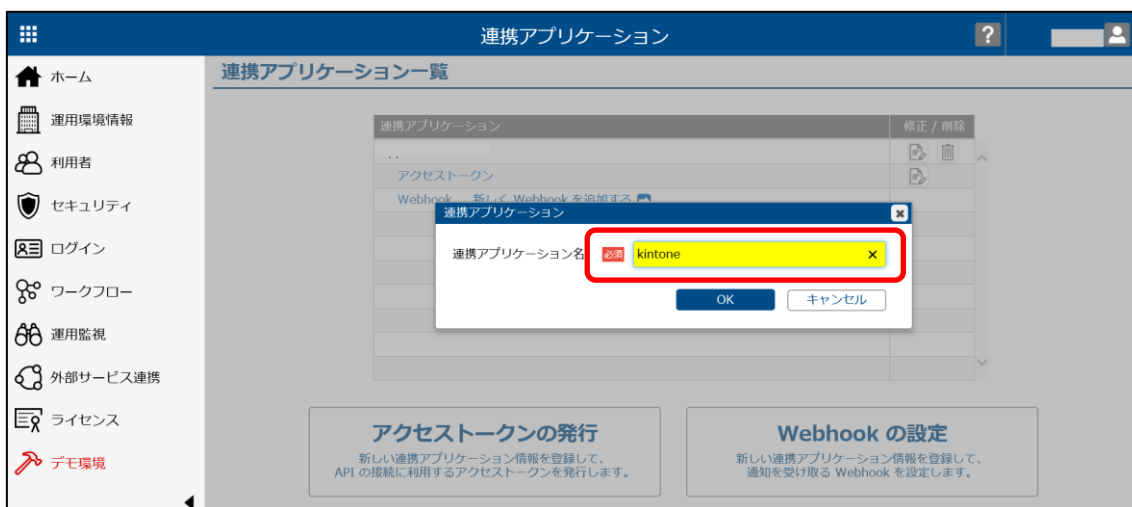
- ① 蔵奉行クラウドの右上メニューの「セキュリティ」アイコンを選択し、「管理ポータル」を選択します。



- ② 管理ポータルのメニューの「外部サービス連携」を選択、「連携アプリケーション」を選択し、連携アプリケーション一覧画面で「アクセストークンの発行」を押します。



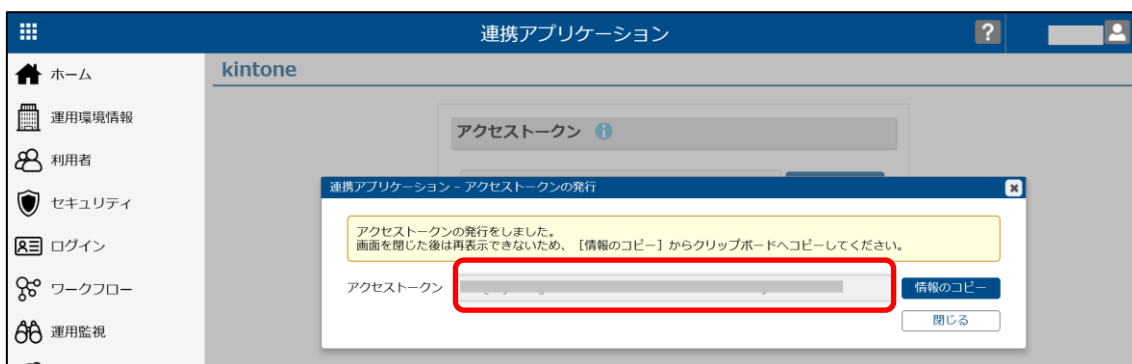
- ③ 連携アプリケーション名に「kintone」と入力し、「OK」を押します。
(連携アプリケーション名は、「kintone」以外でも問題ありません。)



- ④ アクセストークンの「発行」を押します。



- ⑤ 発行されたアクセストークンを確認できます。



第 5 章 利用期限の通知

5.1 利用期限 2 週間前

利用期限 2 週間前になるとダイアログが表示されるようになります。利用の継続をお考えの場合は、ダイアログの案内に従い継続利用の手続きを行ってください。

×

連携プラグイン for 蔵奉行クラウドをご利用いただきありがとうございます。
利用期限は2021-05-28です。
継続して利用する場合は、パートナー契約を申請ください。
<https://www.jbat.co.jp/obc/kconnect/2sDR8t08aFZcZQ-Mutg2.html>
パートナー契約の締結がされない場合は、サービスを停止させていただきます。

確認

×

連携プラグイン for 蔵奉行クラウドをご利用いただきありがとうございます。
利用期限は2021-05-28です。
ご利用の継続につきましては、販売店を通じてご注文ください。
ご注文がない場合は、サービスを停止させていただきます。
※ 受付からデータの反映まで数日かかる場合がございます。

確認

4.2 利用期限切れ

利用期限切れになるとダイアログが表示されるようになり、連携プラグイン for 蔵奉行クラウドの機能をご利用できなくなります。再度のご利用をお考えの場合は、弊社窓口で利用申請を行ってください。

×

利用登録を行ってください。

確認

第6章 付録

6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合

kintone のアクション機能を利用することで、参照プラグインで参照したデータを再利用して、登録プラグインを利用しているアプリから、蔵奉行クラウドにデータ登録を行うことができます。

- ① 参照プラグインを利用しているアプリのアプリ設定を開き、設定タブのその他の設定にあるアクションを選択します。



- ② 作成ボタンを選択します。



- ③ アクションの設定画面で、アクション名を入力し、コピー先として、登録プラグインを利用しているアプリを選択します。
- ④ コピー先のアプリを選択後、フィールドの関連付けで、参照アプリの再利用したいデータがあるフィールドと登録アプリのフィールドの関連付けを行います。
- ⑤ 関連付けが完了したら保存ボタンを押して、アプリを更新してください。

アクションの設定

* アクション名: 再利用

コピー元: 商品データ連携アプリ_参照

* コピー先: 商品データ連携アプリ_登録

フィールドの関連付け: すべてクリア

商品コード	→	商品コード	+	×
商品名	→	商品名	+	×
種別	→	種別	+	×
インデックス	→	インデックス	+	×
単位	→	単位	+	×
商品名 2	→	商品名 2	+	×
商品名 3	→	商品名 3	+	×
商品コード 2	→	商品コード 2	+	×
商品コード 3	→	商品コード 3	+	×

保存 キャンセル

○アクションを利用して、データ登録を行う

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

必要な情報を修正後、登録ボタンを押すと蔵奉行クラウドにデータを登録することができます。

The diagram illustrates the process of reusing data for registration. It consists of two screenshots of a web application interface.

Top Screenshot (Record Detail Screen):

- A red box highlights the **再利用** (Reuse) button in the top left corner.
- Fields include:
 - 商品コード (Product Code): S-10052
 - 商品名 (Product Name): ラガービール (Lager Beer)
 - 種別 (Type): 0
 - 登録日時 (Registration Date/Time): 2020/09/24 18:14:25
 - 修正日時 (Modification Date/Time): 2021/01/25 12:21:33
 - 最終更新日時 (Last Update Date/Time): 2021/01/25 12:21:33
 - インデックス (Index): ラガービール
 - 数量入力 (Quantity Input): 1
 - 単位 (Unit): 本 (Bottles)
 - 入数小数 (Entry Decimal): 0
 - 入数2小数 (Entry 2 Decimal):

Bottom Screenshot (Registration Screen):

- Buttons: **キャンセル** (Cancel) and **保存** (Save).
- Section: **奉行登録フラグ** (Shogun Registration Flag) with a dropdown menu showing **未登録** (Not Registered).
- Fields include:
 - 商品コード (Product Code): S-10052
 - 商品名 (Product Name): ラガービール (Lager Beer)
 - 種別 (Type): 0
 - 処理区分 (Processing Category):

A blue curved arrow points from the **再利用** button in the top screenshot to the **保存** button in the bottom screenshot, indicating the flow of the process.

6.2 参照したデータを再利用してデータ削除を行いたい場合

参照したデータを再利用し、処理区分の項目を『1』にして、登録することにより、参照したデータを蔵奉行クラウドから削除することができます。

参照したデータの再利用方法は、「6.1 参照したデータを再利用してデータ登録を行いたい場合」をご参照ください。

○アクションを利用して、データ削除を行う

アクション機能を設定すると参照アプリのレコード詳細画面にアクションボタンが表示されるようになります。再利用したいデータのレコード詳細画面で、そのボタンを押すと関連付けしたフィールドのデータを再利用した登録データに遷移することができます。

遷移後、処理区分のフィールドに『1』を入力し、登録ボタンを押すと蔵奉行クラウドからそのデータを削除することができます。

The image displays two screenshots of a web application interface, connected by a large blue curved arrow pointing from the top screenshot to the bottom one.

Top Screenshot: This is a record detail page. At the top left, there is a button labeled "再利用" (Reuse), which is highlighted with a red rectangular box. Below this, the form contains the following fields:

- 商品コード (Product Code): S-10052
- 商品名 (Product Name): ラガービール (Lager Beer)
- 種別 (Type): 0
- 登録日時 (Registration Date/Time): 2020/09/24 18:14:25
- 修正日時 (Modification Date/Time): 2021/01/25 12:21:33
- 最終更新日時 (Last Update Date/Time): 2021/01/25 12:21:33
- インデックス (Index): ラガービール
- 数量入力 (Quantity Input): 1
- 単位 (Unit): 本 (Bottle)
- 入数小数 (Entry Decimal): 0
- 入数2小数 (Entry 2 Decimal):

Bottom Screenshot: This is the same record detail page, but after a transition. At the top, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "保存" (Save). Below them, the "奉行登録フラグ" (Execution Registration Flag) is set to "未登録" (Not Registered). The form fields are identical to the top screenshot, except for the "処理区分" (Processing Category) field, which is now set to "1" and is highlighted with a red rectangular box.

6.3 商品データの規則

項目名	データ	桁数	必要	説明
【基本】				
商品コード	英数カナ	1-40	○	桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
商品名	文字	60		
種別	数字	1		0：有形 1：無形
処理区分	数字	1		0：新規/修正 1：削除 空白で受け入れた場合は、0：新規/修正で受け入れられます。
登録日時	文字	19		- 抽出時の形式 和暦の形式でも西暦の形式でも記載できます。 【例】 "2020/4/1 10:30:20" "20/4/1 10:30:20" "2020 年 4 月 1 日 10:30:20" "令和 2 年 4 月 1 日 10:30:20" ※月日が1桁の場合は、1桁のままでも、「スペース」を付けて2桁にしても記載できます。 ・出力結果は必ず西暦になります。
修正日時	文字	19		
最終更新日時	文字	19		
インデックス	英数カナ	10		
数量入力	数字	1		0：しない 1：する この項目は、「種別」が「1：無形」の場合に受け入れられます。
単位	文字	6		
入数小数	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。 ・拡張項目1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「種別」が「1：無形」以外
入数2小数	数字	1		0～4 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。 ・拡張項目2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「種別」が「1：無形」以外
箱数小数	数字	1		0～4 この項目は、「種別」が「1：無形」以外の場合に受け入れられます。
入数	数字	12		整数7桁 小数4桁 形式は、「6.4 商品データの規則（補足）」の「金額・数量の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れられます。

				・拡張項目 1（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「種別」が「1：無形」以外 受け入れできる小数の桁数は、「入数小数」の設定によって異なります。
入数 2	数字	12		整数 7 桁 小数 4 桁 形式は、「6.4 商品データの規則（補足）」の「金額・数量の形式」参照 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・拡張項目 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」 ・「種別」が「1：無形」以外 受け入れできる小数の桁数は、「入数 2 小数」の設定によって異なります。
数量小数	数字	1		0～4
単価小数桁	数字	1		0～4
商品名 2	文字	40		この項目は、商品名 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。
商品名 3	文字	40		この項目は、商品名 3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。
商品コード 2	英数カナ	1-40		この項目は、商品コード 2（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
商品コード 3	英数カナ	1-40		この項目は、商品コード 3（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
発行コード	英数カナ	40		この項目は、発行コード（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。
メモ 1	文字	40		
メモ 2	文字	40		
メモ 3	文字	40		
【区分】				
商品区分 1 コード	英数カナ	4-10		[商品区分]メニューで登録されている商品区分 1 コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。

				用設定]メニューの[商品管理]ページ)によって異なります。
商品区分 1 名	文字			参照のみ。
商品区分 2 コード	英数カナ	4-10		[商品区分]メニューで登録されている商品区分 2 コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ)によって異なります。
商品区分 2 名	文字			参照のみ。
商品区分 3 コード	英数カナ	4-10		[商品区分]メニューで登録されている商品区分 3 コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ)によって異なります。
商品区分 3 名	文字			参照のみ。
商品区分 4 コード	英数カナ	4-10		[商品区分]メニューで登録されている商品区分 4 コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ)によって異なります。
商品区分 4 名				参照のみ。
商品区分 5 コード	英数カナ	4-10		[商品区分]メニューで登録されている商品区分 5 コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ)によって異なります。
商品区分 5 名	文字			参照のみ。
【販売】				
主販売取引コード	英数カナ	4-10		[販売取引]メニューで登録されている販売区分が「0: 販売」「2: 値引」「9: その他」の販売取引コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債権管理]ページ)によって異なります。
主販売取引コードー 返品	英数カナ	4-10		この項目は、主販売取引の販売区分が「2: 値引」以外の販売取引コードの場合に受け入れできます。 [販売取引]メニューで登録されている販売区分が「1: 返品」の販売取引コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債権管理]ページ)によって異なります。
主販売取引コードー 値引	英数カナ	4-10		この項目は、主販売取引の販売区分が「2: 値引」以外の販売取引コードの場合に受け入れできます。 [販売取引]メニューで登録されている販売区分が「2: 値引」の販売取引コードを設定します。 桁数は、設定 (メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債権管理]ページ)によって異なります。
主販売取引と同じ設 定にする	数字	1		0: しない 1: する
販売課税区分	数字	1		0: 不課税 1: 課税 2: 非課税 3: 免税 この項目は、「主販売取引と同じ設定にする」が「0: しない」の場

				合に受け入れできます。 「主販売取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主販売取引と同じ課税区分が設定されます。
販売消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「主販売取引と同じ設定にする」が「0：しない」 ・「販売課税区分」が「1：課税」 「主販売取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主販売取引と同じ消費税率種別が設定されます。
販売消費税自動計算	数字	1		0：計算しない 1：税抜金額から計算する 2：税込金額から計算する この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「主販売取引と同じ設定にする」が「0：しない」 ・「販売課税区分」が「1：課税」 「主販売取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主販売取引と同じ消費税自動計算が設定されます。
得意先と同じ設定にする	数字	1		0：しない 1：する この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。
売上計上基準	数字	2		0：出荷基準 1：検収基準 この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。
出荷予定日	数字	2		0：当日 1～99：日後
休日パターンコード	数字	3		メインメニュー右上にある[設定]アイコンの[休日]メニューで登録されている休日パターンコードを設定します。
【仕入】 この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。				
主仕入取引コード	英数カナ	4-10		[仕入取引]メニューで登録されている仕入区分が「0：仕入」「2：値引」「9：その他」の仕入取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債務管理]ページ）によって異なります。
主仕入取引名	文字			参照のみ。
主仕入取引コードー返品	英数カナ			この項目は、主仕入取引の仕入区分が「2：値引」以外の仕入取引コードの場合に受け入れできます。 [仕入取引]メニューで登録されている仕入区分が「1：返品」の仕入取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債務管理]ページ）によって異なります。
主仕入取引名ー返品	文字			参照のみ。
主仕入取引コードー値引	英数カナ			この項目は、主仕入取引の仕入区分が「2：値引」以外の仕入取引コードの場合に受け入れできます。

				[仕入取引]メニューで登録されている仕入区分が「2：値引」の仕入取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[債務管理]ページ）によって異なります。
主仕入取引名一値引	文字			参照のみ。
主仕入取引と同じ設定にする	数字			0：しない 1：する
仕入課税区分	数字	1		0：不課税 1：課税 2：非課税 6：リバースチャージ この項目は、「主仕入取引と同じ設定にする」が「0：しない」の場合に受け入れできます。 「主仕入取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主仕入取引と同じ課税区分が設定されます。
仕入対象区分	数字	1		0：対象外 1：課税売上分 2：非課税売上分 3：共通売上分 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「主仕入取引と同じ設定にする」が「0：しない」 ・「仕入課税区分」が「1：課税」または「6：リバースチャージ」 「主仕入取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主仕入取引と同じ仕入対象区分が設定されます。
仕入消費税率種別	数字	1		0：標準 1：軽減 この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「主仕入取引と同じ設定にする」が「0：しない」 ・「仕入課税区分」が「1：課税」 「主仕入取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主仕入取引と同じ消費税率種別が設定されます。
仕入消費税自動計算	数字	1		0：計算しない 1：税抜金額から計算する 2：税込金額から計算する この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「主仕入取引と同じ設定にする」が「0：しない」 ・「仕入課税区分」が「1：課税」 「主仕入取引と同じ設定にする」が「1：する」の場合は、主仕入取引と同じ消費税自動計算が設定されます。
仕入先と同じ設定にする	数字	1		0：しない 1：する
仕入計上基準	数字	2		0：入荷基準 1：検収基準 この項目は、「仕入先と同じ設定にする」が「0：しない」の場合に受け入れできます。
主仕入先コード	英数カナ	1-20		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[取引先管理]ページ）によって異なります。 この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。

主仕入先名	文字			参照のみ。
【在庫】				
この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。				
在庫管理	数字	1		0：しない 1：する この項目は、「種別」が「0：有形」の場合に受け入れできます。
主倉庫コード	英数カナ	4-10		[在庫取引]メニューで登録されている取引種別が「1：期末棚卸」の在庫取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。
主倉庫名	文字			参照のみ。
棚卸資産評価方法	数字	1		
主在庫取引コードー 期末棚卸	英数カナ	4-10		[在庫取引]メニューで登録されている取引種別が「1：期末棚卸」の在庫取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。
主在庫取引名ー期末 棚卸	文字			参照のみ。
主在庫取引コードー 棚卸減耗	英数カナ	4-10		[在庫取引]メニューで登録されている取引種別が「2：棚卸減耗」の在庫取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。
主在庫取引名ー棚卸 減耗	文字			参照のみ。
主在庫取引コードー 期末評価	英数カナ	4-10		[在庫取引]メニューで登録されている取引種別が「3：期末評価」の在庫取引コードを設定します。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[在庫管理]ページ）によって異なります。
主在庫取引名ー期末 評価	文字			参照のみ。
在庫金額の評価単位 ーバリエーション	数字	1		0：しない 1：する この項目は、「仕入管理」が「1：する」の場合に受け入れできます。 該当商品をより細かい単位で評価する場合に設定します。
在庫金額の評価単位 ー荷姿	数字	1		0：しない 1：する この項目は、「仕入管理」が「1：する」の場合に受け入れできます。 該当商品をより細かい単位で評価する場合に設定します。
在庫単価小数桁	数字	1		0～4 形式は、「6.4 商品データの規則（補足）」の「金額・数量の形式」 参照
【単価】				
標準価格（税抜）	数字	14		整数9桁 小数4桁 形式は、「6.4 商品データの規則（補足）」の「金額・数量の形式」 参照 ※小数部分の桁数は、「単価小数桁」の設定によって異なります。
標準価格（税込）	数字	14		
標準価格（税込）8%	数字	14		
標準価格（税込）8%	数字	14		

軽				
標準価格（税込）10%	数字	14		
売価 No. 1（税抜）	数字	14		
売価 No. 1（税込）	数字	14		
売価 No. 1（税込）8%	数字	14		
売価 No. 1（税込）8% 軽	数字	14		
売価 No. 1（税込） 10%	数字	14		
売価 No. 2（税抜）	数字	14		
売価 No. 2（税込）	数字	14		
売価 No. 2（税込）8%	数字	14		
売価 No. 2（税込）8% 軽	数字	14		
売価 No. 2（税込） 10%	数字	14		
売価 No. 3（税抜）	数字	14		
売価 No. 3（税込）	数字	14		
売価 No. 3（税込）8%	数字	14		
売価 No. 3（税込）8% 軽	数字	14		
売価 No. 3（税込） 10%	数字	14		
売価 No. 4（税抜）	数字	14		
売価 No. 4（税込）	数字	14		
売価 No. 4（税込）8%	数字	14		
売価 No. 4（税込）8% 軽	数字	14		
売価 No. 4（税込） 10%	数字	14		
売価 No. 5（税抜）	数字	14		
売価 No. 5（税込）	数字	14		
売価 No. 5（税込）8%	数字	14		
売価 No. 5（税込）8% 軽	数字	14		
売価 No. 5（税込） 10%	数字	14		
売価 No. 6（税抜）	数字	14		
売価 No. 6（税込）	数字	14		
売価 No. 6（税込）8%	数字	14		
売価 No. 6（税込）8% 軽	数字	14		

売価 No. 6 (税込) 10%	数字	14		
売価 No. 7 (税抜)	数字	14		
売価 No. 7 (税込)	数字	14		
売価 No. 7 (税込) 8%	数字	14		
売価 No. 7 (税込) 8% 軽	数字	14		
売価 No. 7 (税込) 10%	数字	14		
売価 No. 8 (税抜)	数字	14		
売価 No. 8 (税込)	数字	14		
売価 No. 8 (税込) 8%	数字	14		
売価 No. 8 (税込) 8% 軽	数字	14		
売価 No. 8 (税込) 10%	数字	14		
売価 No. 9 (税抜)	数字	14		
売価 No. 9 (税込)	数字	14		
売価 No. 9 (税込) 8%	数字	14		
売価 No. 9 (税込) 8% 軽	数字	14		
売価 No. 9 (税込) 10%	数字	14		
売価 No. 10 (税抜)	数字	14		
売価 No. 10 (税込)	数字	14		
売価 No. 10 (税込) 8%	数字	14		
売価 No. 10 (税込) 8% 軽	数字	14		
売価 No. 10 (税込) 10%	数字	14		
単位原価	数字	14		
仕入原価 (税抜)	数字	14		整数 9 桁 小数 4 桁
仕入原価 (税込)	数字	14		形式は、「6.4 商品データの規則 (補足)」の「金額・数量の形式」
仕入原価 (税込) 8%	数字	14		参照
仕入原価 (税込) 8% 軽	数字	14		この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできま す。
仕入原価 (税込) 10%	数字	14		※小数部分の桁数は、「単価小数桁」の設定によって異なります。
在庫単価	数字	14		整数 9 桁 小数 4 桁 形式は、「6.4 商品データの規則 (補足)」の「金額・数量の形式」 参照 この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできま す。

				※小数部分の桁数は、「在庫単価小数桁」の設定によって異なります。
【発注】 この項目は、『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に受け入れできます。				
荷姿区分コード	英数カナ	1-10		この項目は、荷姿（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
発注検討計算式コード	英数カナ	2-10		0：すべての荷姿区分（バラ換算） 1：発注時の荷姿区分 この項目は、荷姿（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。
発注検討区分	数字	2		整数 9 桁 小数 4 桁
発注点	数字	17		整数 12 桁 小数 4 桁
補充点	数字	17		整数 12 桁 小数 4 桁
発注単位数量	数字	14		
発注サイクル	数字	3		
リードタイム	数字	3		整数 2 桁 小数 2 桁
サービス率	数字	5		整数 12 桁 小数 4 桁
安全在庫数量	数字	17		整数 9 桁 小数 4 桁
必要数量	数字	14		
発注検討在庫数量の集計対象	数字	1		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
荷姿区分換算時の端数処理	数字	1		0：切り上げ 1：切り捨て 2：端数をバラで発注する この項目は、荷姿（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページで設定）が「使用する」の場合に受け入れできます。
発注納品期日	数字	2		0：当日 0～99：日後
【荷姿】 この項目は、『S システム』をお使いの場合に受け入れできます。				
荷姿 1－荷姿区分コード	英数カナ	1-10		桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
荷姿 1－基準荷姿区分コード	英数カナ	1-20		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできます。 ・「荷姿区分コード」が「0」以外 ・「荷姿区分コード」と異なる「基準荷姿区分コード」 桁数は、設定（メインメニュー右上にある[設定]アイコンから[運用設定]メニューの[商品管理]ページ）によって異なります。
荷姿 1－基準単位当たり荷姿区分数	数字	12		整数 7 桁 小数 4 桁 この項目は、「荷姿区分コード」が「0」以外の場合に受け入れできます。 「基準単位当たり荷姿区分数」が循環（※1）してしまう場合は、

				受け入れできません。
荷姿 1－単位	文字	6		この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。 ・「基準荷姿区分コード」が受け入れるファイルに存在する ・「基準単位当たり荷姿区分数」が受け入れるファイルに存在する
荷姿 1－内容	文字	20		
荷姿 1－備考	文字	20		
荷姿 2－荷姿区分コード	英数カナ	1-10		設定内容は、「荷姿 1」と同様です。
荷姿 2－基準荷姿区分コード	英数カナ	1-20		
荷姿 2－基準単位当たり荷姿区分数	数字	12		
荷姿 2－単位	文字	6		
荷姿 2－内容	文字	20		
荷姿 2－備考	文字	20		
荷姿 3－荷姿区分コード	英数カナ	1-10		
荷姿 3－基準荷姿区分コード	英数カナ	1-20		
荷姿 3－基準単位当たり荷姿区分数	数字	12		
荷姿 3－単位	文字	6		
荷姿 3－内容	文字	20		
荷姿 3－備考	文字	20		
荷姿 4－荷姿区分コード	英数カナ	1-10		
荷姿 4－基準荷姿区分コード	英数カナ	1-20		
荷姿 4－基準単位当たり荷姿区分数	数字	12		
荷姿 4－単位	文字	6		
荷姿 4－内容	文字	20		
荷姿 4－備考	文字	20		
主販売荷姿区分コード	数字	1		0：しない 1：する この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。 ・「基準荷姿区分コード」が受け入れるファイルに存在する ・「基準単位当たり荷姿区分数」が受け入れるファイルに存在する 「主販売荷姿区分」として設定できるのは1商品コードにつき1つまでです。
主仕入荷姿区分コード	数字	1		0：しない 1：する この項目は、以下のすべての条件に該当する場合に受け入れできません。 ・『蔵奉行クラウド』をご利用

				・「基準荷姿区分コード」が受け入れるファイルに存在する ・「基準単位当たり荷姿区分数」が受け入れるファイルに存在する 「主仕入荷姿区分」として設定できるのは1商品コードにつき1つまでです。
--	--	--	--	--

6.4 商品データの規則（補足）

数量・金額の形式			
○：受入可能		×：受入不可	
	例		例
3桁区切りなし	123456	3桁区切りあり	123,456
ダブルクォーテーション	"123,456"		

連携プラグイン for 蔵奉行クラウド 商品データ連携 ユーザーズマニュアル

2022 年 04 月 19 日 第 5 版発行